

環境レポート

(2015)

自然環境を大切に、地域と共に
発展を目指します。



オキシラン化学株式会社 三重工場

環境レポート目次

1. ごあいさつ	2
2. 工場の概要	3
3. 環境保全活動	4
4. 環境マネジメントシステムの状況	5
(1) 環境マネジメントシステムの構築	5
(2) 2015年度環境目標	5
(3) 環境管理推進組織	5
(4) 教育活動	5
(5) 緊急事態への対応	6
(6) 法規制への対応	6
5. 環境管理活動の取り組み状況	6
(1) 2014年度の環境目標と実績	6
(2) 2015年度版環境会計（2014年度実績）	7
(3) 公害・苦情	8
(4) 省エネルギー活動とエネルギー使用量の推移	8
(5) 産業廃棄物削減の取り組み	9
(6) 水質汚濁防止の取り組み	10
(7) 騒音・振動防止の取り組み	10
(8) 悪臭防止の取り組み	10
(9) 特定化学物質排出量管理への取り組み	11
(10) 環境コミュニケーション	11
6. 安全への対応	12
(1) 2014年度安全目標と実績	12
(2) 防災訓練	12
アンケート	13

1. ごあいさつ

本レポートは、2014年度に当工場が展開してきた環境保全活動をまとめたものです。当工場は2001年3月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO 14001を取得し、その管理システムに基づいて活動を展開しております。

2014年度の省エネ活動としては、排温水の有効利用、冷却水ポンプの適正運転管理を行いました。生産量減少の影響を受け、結果は、蒸気・電気原単位の対予算1%削減の目標に対して蒸気は5.9%増、電気は1.1%増となり目標未達成となりました。今後も削減に向けて努力していきます。

廃棄物については、工程・設備改善等により廃油・廃酸の削減を図っております。2014年度の廃棄物削減活動の結果は、発生量の84%を内部処理できましたが、外部委託量は、前年比125%の増加となりました。廃酸の内部処理量は、昨年並みを維持できましたが、廃酸の発生量が昨年より多くなったことが起因しています。

2011年度から完全ゼロエミッションの定義は、最終埋立処分量をトータル廃棄物発生量の0.1%未満としています。2014年度実績は0.0%で、完全ゼロエミッションを達成しています。

当工場では環境管理と同様、工場管理の基盤である安全管理、品質管理活動をTPM活動と一体化して進め、地域住民、顧客、株主及び働く人達に安心していただける様に、工場運営をしてまいります。

今後も、皆様のご意見、ご指導を戴きながら、環境維持・改善活動に積極的に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

2015年 9月

取締役 三重工場長 一木好永

2. 工場の概要

当工場は、塩化ビニル樹脂用の安定剤兼可塑剤で、日本塩ビ食品衛生協議会による自主規格で食品包装用添加剤として使用が認可されているエポキシ化大豆油の連続製造プラントとして、1969年（昭和44年）に(株)ADEKA（2006年5月 旭電化工業から社名変更）三重工場に隣接して開設されました。

工場は三重県北西部の住宅地と田園に囲まれた自然に恵まれた地にあり、約39,000m²（1万2千坪）の敷地には協力会社を含め36名が働いています。

製造プラントとしては、エポキシ化大豆油の連続プラントの他にバッチ式プラントを有し、得意とするエポキシ化技術を生かして、その他の各種誘導品を製造しています。販売は全て下記の親会社（株主4社）が行う生産専門会社であり、製造された製品は幅広い用途で使用されています。

(1) 設立年月日	1967年（昭和42年）	10月18日	創立
	1969年（昭和44年）	10月 3日	工場竣工

(2) 株主 (株)ADEKA、DIC(株)、新日本理化(株)、日油(株)

(3) 敷地面積 38,700m²

(4) 従業員数 31名（他に構内協力会社 5名） 2015年9月現在

(5) 生産量 9,429t/年（2014年度）

(6) 主要製品 エポキシ化大豆油
各種誘導品

(7) 所在地 本社 東京都中央区日本橋本町4-1-13（スリーピー日本橋ビル）
工場 三重県員弁郡東員町山田3616-4

(8) 工場の主な活動

（環境管理活動）2001年3月に国際環境マネジメントシステム ISO 14001 を認証取得し、環境に配慮した化学工場を目指して、継続的改善活動を進めています。2006年3月にISO 14001 2004年度版への移行を完了しています。

（安全衛生活動）主に日常3大活動（ヒヤリ気掛かり運動、Jカード運動、一言安全宣言）の実行、安全パトロール、リスクアセスメントによるプロセス、設備等のリスクの抽出・評価や安全改善を実施しています。

（品質管理活動）1997年10月に 国際品質管理システム ISO 9002 を認証取得し、品質の維持・改善活動を推進しております。2003年11月にISO 9001へ移行、2009年11月に2008年度版への移行を完了しています。

3. 環境保全活動

〔三重工場環境方針〕

当工場では、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得を機に環境方針を定め、方針に従って活動しています。

環境方針

当工場は、地域と共存・共栄し豊かな自然を守るため、安全優先の工場運営を行い、安全・環境保全活動に取り組みます。

1. 当工場に適用される法的要求事項および当工場が同意する要求事項を順守します。
2. 技術的、経済的に可能な範囲で、安全・環境保全の継続的改善と環境汚染の予防に努めます。
3. 環境目的および目標を設定し、廃棄物・エネルギーの環境負荷低減に努めます。
4. 教育訓練・啓蒙活動を通じ、当工場で働く全ての人の安全・環境意識を向上させます。
5. 積極的に情報公開し、社会に信頼を与えるよう努めます。

2015年 4月 1日

オキシラン化学株式会社 三重工場

工場長 一本好永

4. 環境マネジメントシステムの状況

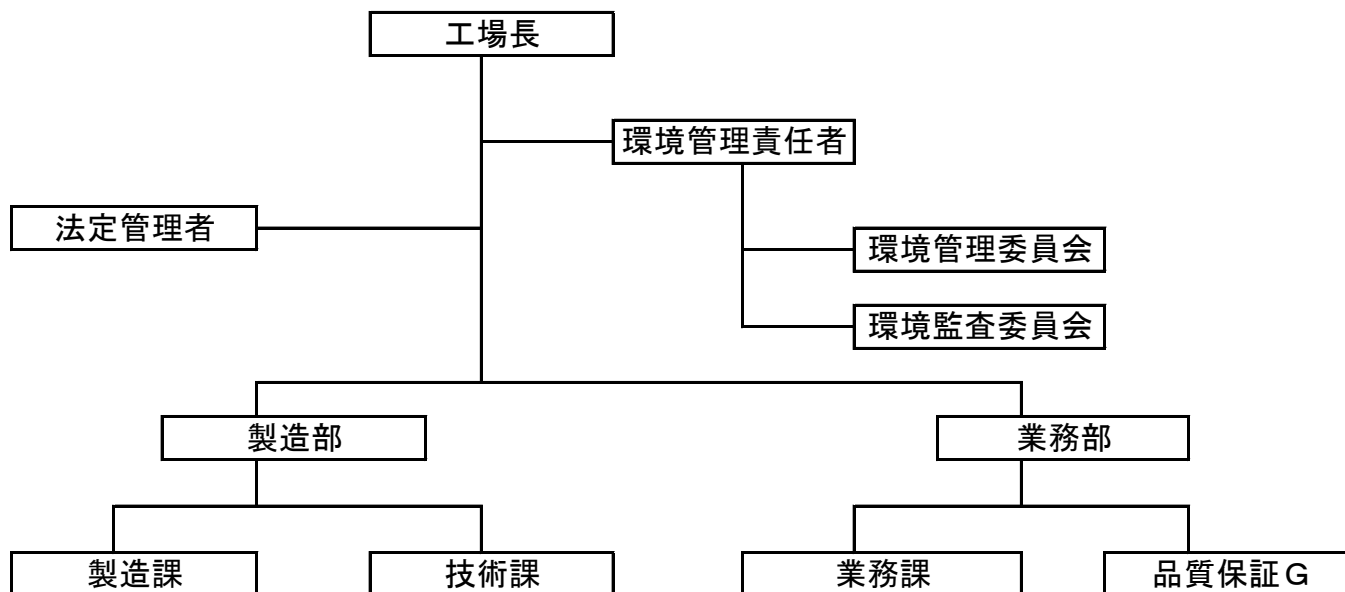
(1) 環境マネジメントシステムの構築

当工場は、ISO 14001の規格に沿った環境マネジメントシステムを構築しています。システムの基本は Plan（方針、計画）→ Do（実施、運用）→ Check（点検）→ Action（是正、見直し）を繰り返して継続的改善を図ることにあります。2014年度の目標は下記の通りです。

(2) 2015年度環境目標（2015年度：2015. 4. 1～2016. 3. 31）

環境目標	
① 公害・苦情	0件
② 省エネルギー	1%低減（対予算原単位）
③ 産業廃棄物削減	1%削減（対予算原単位）
④ 環境予防処置	14件以上
⑤ グリーン購入率	80%以上
⑥ 完全ゼロエミッションの達成	0.1%未満

(3) 環境管理推進組織



(4) 教育活動

当工場では全ての部署および階層の責任と権限を明確に規定しています。この責任と権限を遂行するために、環境管理の重要性の周知、公害防止設備の運転、点検技能の向上、緊急対処法等を盛り込んだ教育、訓練計画を作成し、全従業員を対象に教育・訓練を行っています。また、運用上必要な資格は法定人数以上に取得させ全体レベルの向上に努めています。

(5) 緊急事態への対応

地震などによる不慮の事故に対する緊急時の対応は基準・標準等に規定し、明確にしています。地震、火災などの緊急事態は、警報によって知らされ、発生部署で初期緊急対応を行います。また、工場全体での緊急対応については隣接する(株)ADEKA三重工場と共同で組織されている防火・防災管理組織で対応する体制となっています。自衛消防隊組織は消防操作法、救急救命等訓練された経験のある従業員で構成されています。

(6) 法規制への対応

当工場が規制を受ける法令は「水質汚濁防止法」、「下水道法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「毒物及び劇物取締法」、「労働安全衛生法」、「悪臭防止法」、「工場立地法」、その他化学物質の規制に係わる各種法律があります。これらの法令及び関連条例で定められた規制値は全て遵守しております。

法規制への対応状況の詳細は、5項の環境管理活動の取り組み状況に記載しております。

5. 環境管理活動の取り組み状況

(1) 2014年度の環境目標と実績

項目	目標（2014度）	実績	結果
① 公害・苦情	0件	0件	達成
② 省エネルギー	対予算 1%低減	蒸気 5.9% 増 電気 1.1% 増	未達成 未達成
③ 産業廃棄物削減	廃酸原単位 対予算 1%削減	廃酸 48% 減	達成
④ 環境予防処置	14件以上	15件	達成
⑤ グリーン購入率	80%以上	83.5%	達成
⑥ 完全ゼロエミッションの達成	0.1%未満	0.0%	達成

(2) 2015年度版環境会計 (2014年度実績)

事業所名:オキシラン化学(株) 三重工場

集計期間: 2014年4月1日~2015年3月31日(2014年度実績)

環境保全コスト		単位 千円	
分類	主な取り組みの内容	投資額	費用額
(1) 事業エリア内コスト	次の3つに分類		
①公害防止コスト	大気・水質・土壌・騒音・振動・悪臭・地盤沈下等の防止	30,394	45,665
②地球環境保全コスト	地球温暖化防止(省エネ)、オゾン層破壊防止	3,740	1,219
③資源循環コスト	廃棄物の発生抑制、削減、リサイクル等の資源循環	590	950
(2) 上・下流コスト	グリーン購入、容器包装の環境負荷低減、製品の回収・再商品化	0	260
(3) 管理活動コスト	環境ISO、環境情報開示、環境負荷監視、緑化	0	1,053
(4) 研究開発コスト	環境保全に係わる研究・開発費	0	0
(5) 社会活動コスト	事業所外の緑化・美化、環境保護団体への寄付・支援	0	90
(6) 環境損傷対応コスト	水質・土地汚染等の浄化、自然修復	0	0
合計		34,724	49,237

環境保全効果					
環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	単位	2013年度	2014年度	対前年度比
事業活動に投入する資源	特定の管理対象物質投入量	t	0	0	
事業活動から産出する財・サービス	使用済み製品、容器、包装の循環使用量	t	0	0	
	容器包装使用量	t	426	416	97.7%
その他	輸送に伴う環境負荷物質排出量	t			
	製品、資材等の輸送量	t・km			

環境保全対策に伴う経済効果(実質的効果)		単位 千円
効果の内容	金額	
リサイクルにより得られた収入、有価物の売却益等	549	
環境から事業活動への資源投入に伴う費用の節減	1,904	
事業活動から環境への負荷及び廃棄物排出に伴う費用の節減	42,570	
環境損傷対応費用の節減	0	
その他の費用の節減	360	
合計	45,383	

※2006年度より表示単位を百万円から千円に変更。

【環境への投資】

2014年度の環境保全費用 49,237千円

上記に伴う経済効果 45,383千円

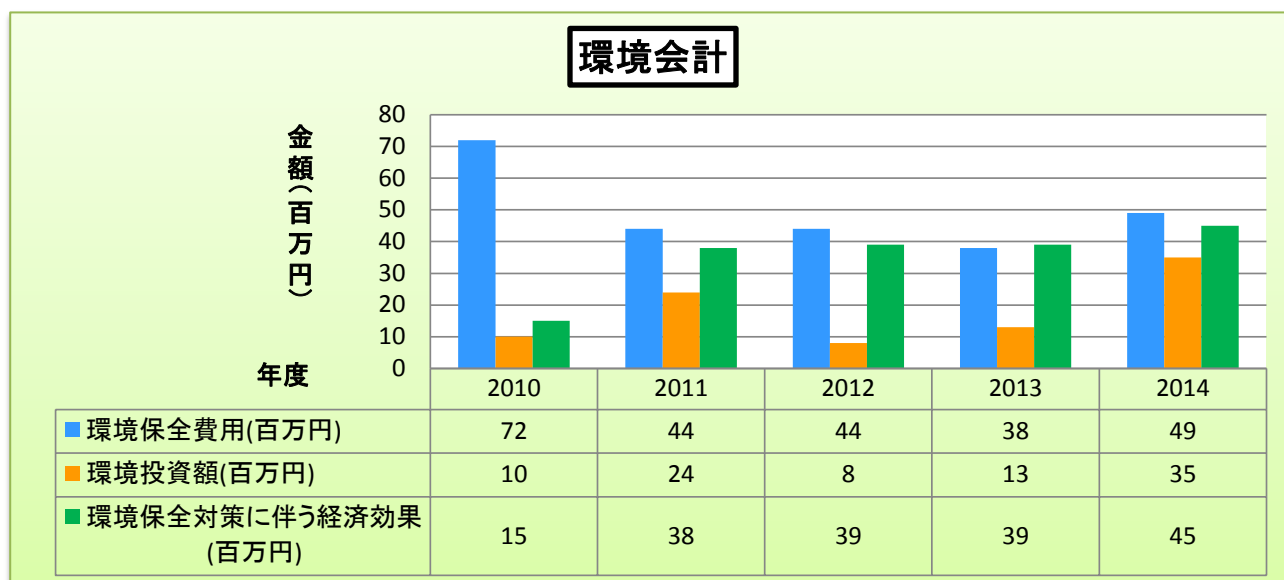
従って、経済効果対環境保全費用は92.2%となります。環境への投資額は34,724千円で、設備投資総額の8.9%に相当します。また、環境改善に係る主な設備工事は下記のようになっています。

① 油水分離槽工事 3,333千円

② 冷却水配管更新工事 3,090千円

③ フィルタープレス機整備工事 1,545千円

当工場の過去5年間の環境投資額、環境保全費用を下の表に示しました。



(3) 公害・苦情

公害、苦情はありませんでした。

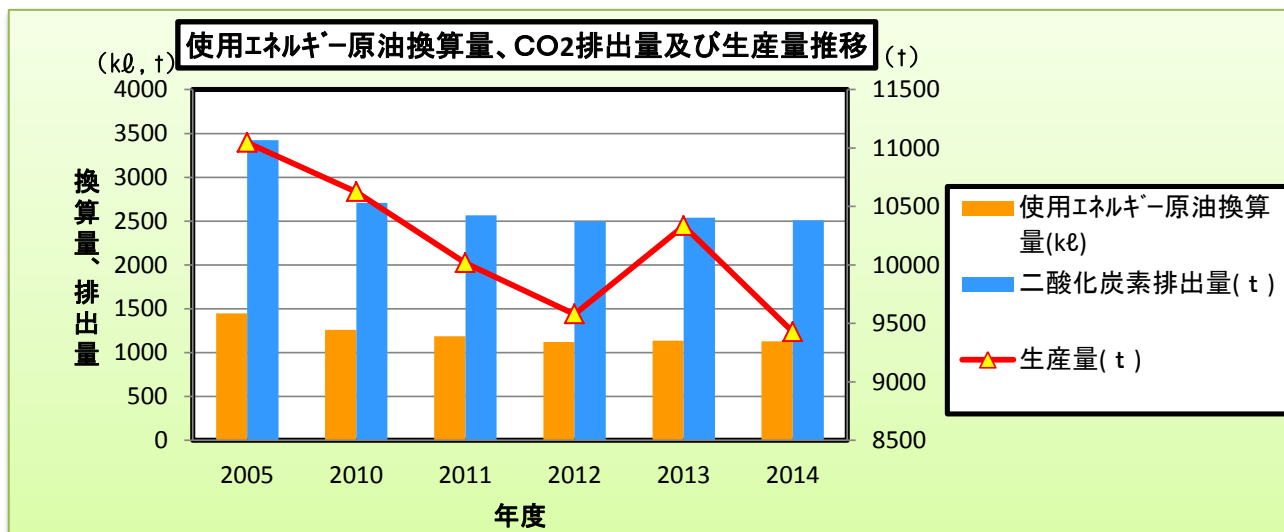
(4) 省エネルギー活動とエネルギー使用量の推移

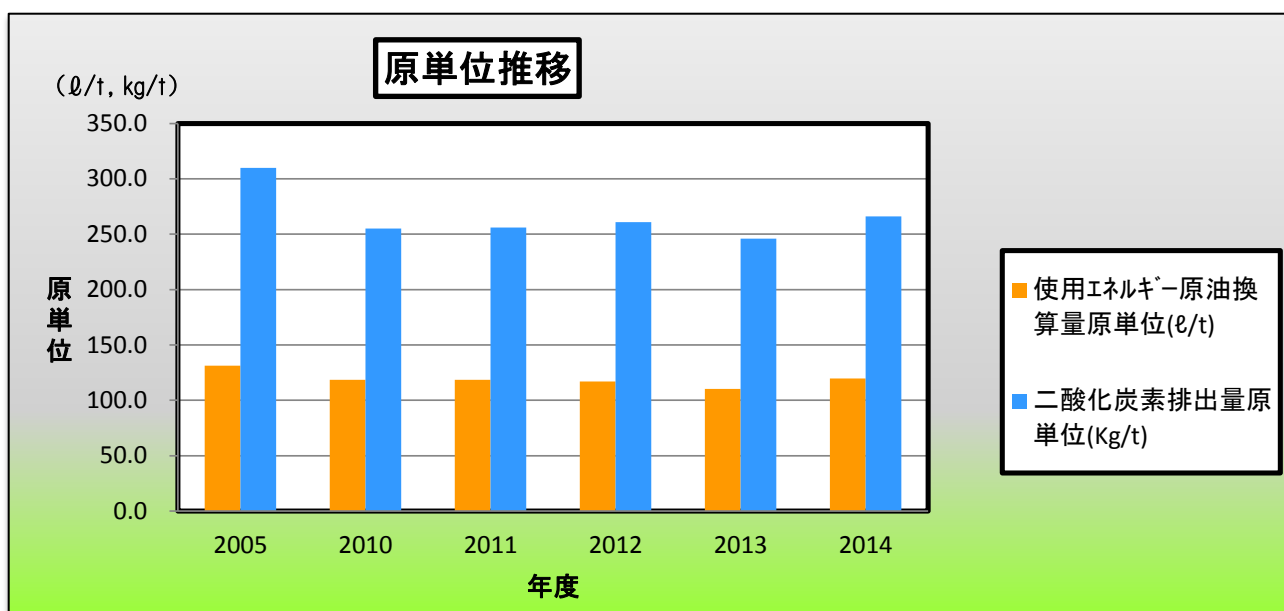
当工場は工程改善による生産の効率化、省エネ機器の導入、使用量の適正管理などによりエネルギー使用量の削減に努めています。2014年度の主な活動は次の通りです。

- ① 排温水の有効利用、蒸気トレースの見直し
- ② 冷却水ポンプの大型・小型の適正運転管理

省エネ目標（蒸気、電気 対予算原単位1%削減）に対して、蒸気原単位は5.9%増、電気原単位も1.1%増となり、省エネ目標を未達でした。主力製品の生産効率化及び予算作成時との品種構成の違いによるものです。

使用エネルギーの原油換算量、二酸化炭素排出量及び生産量の過去5年間の推移を下図に示しました。2014年度の二酸化炭素排出量は2005年対比26.7%減となっています。2014年より政府の目標である2005年比で比較しました（2020年で3.8%減）。今後も設備改善、工程改善を行い二酸化炭素排出量の削減に努めていきます。



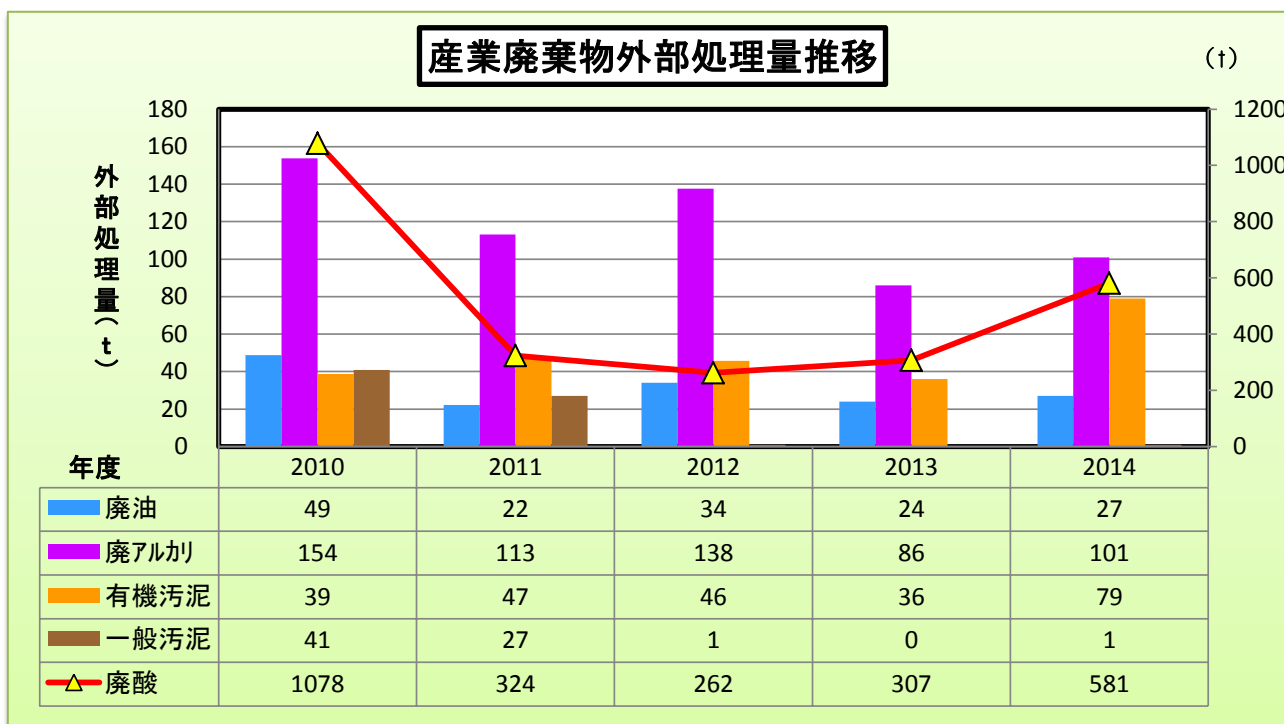


(5) 産業廃棄物削減の取り組み

当工場の産業廃棄物には廃油(廃溶剤を含む)、廃アルカリ、汚泥(有機・一般)、廃酸等がありますが、工程改善、管理強化などにより継続的に発生抑制を図っております。

廃油は燃料として資源化を進めており、2014年度は発生した廃油7tを燃料として使用し、外部にも燃料油として221tを売却しております。廃アルカリは2010年度より生産品種構成が変化しており、それ以前より発生が増加し2014年度は101tを外部に搬出しました。今後は、極力廃アルカリの発生を少なくするように努めていきます。廃酸は、2014年度は2971t内部処理し、外部に581t搬出しました。

また、最終埋立量を0.1%未満にする完全ゼロエミッションについても、2014年度は0.0%となり目標を達成しています。下の表に産業廃棄物外部処理量の過去5年間の推移を示しました。

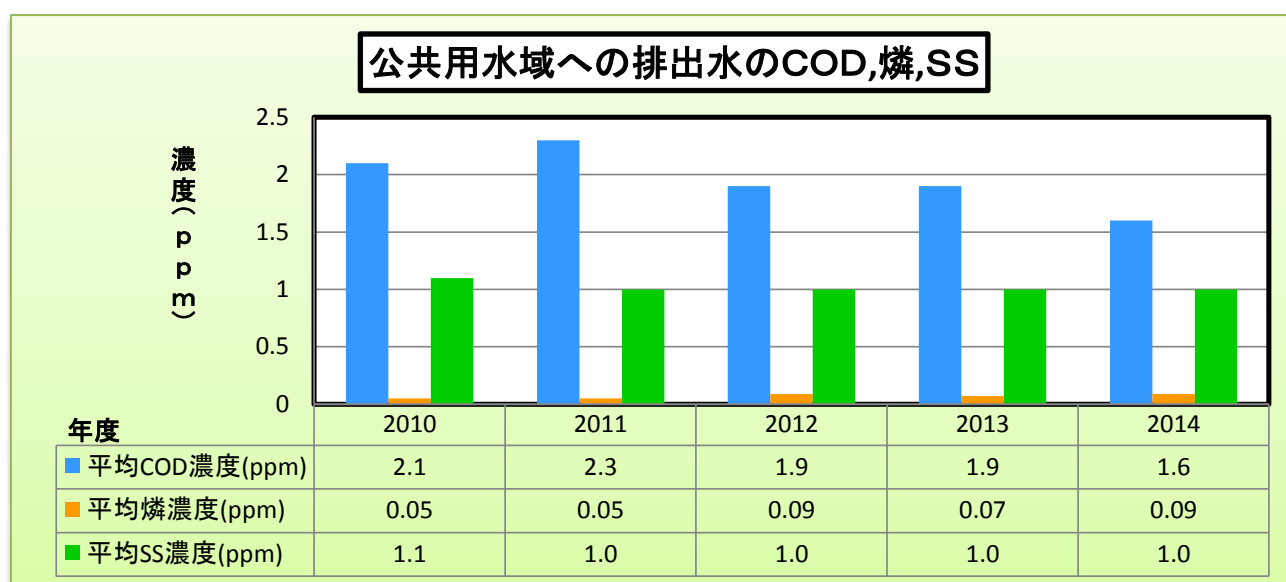


(6) 水質汚濁防止の取り組み

当工場の製造工程から出る廃水には、有機物、アルカリ、過酸化水素、蟻酸などが含まれている為、加熱分解、中和、活性汚泥処理を行い公共下水へ約200t/日を排出しています(2009年2月より従来の公共用水域への排出から変更)。

雨水・冷却水は従来通り400t容量のピットを經由して公共用水域へ約1,400t/日排出しています。

いずれの排出水も水質を定期的にチェックをしております。その内の公共用水域への排出水について化学的酸素要求量(COD)、浮遊固形物(SS)と燐濃度につき過去5年間の年間平均値を下記グラフに示しました。ほぼ一定の値で推移しています。この排出水は総量規制対象外で濃度規制のみです。尚、他の生活環境項目も排出基準値を下回っています。



* 排出基準値(公共用水域) ; COD 160ppm、全燐 2ppm、SS 90ppm

(7) 騒音・振動防止の取り組み

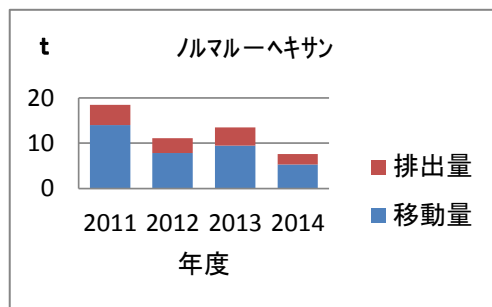
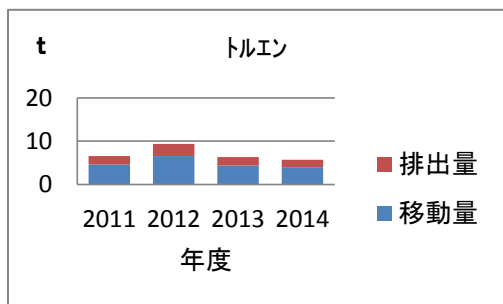
工場には騒音・振動を発生する設備として空気圧縮機がありますが、この設備は屋内に設置し、外部への影響を少なくしております。また、住宅地側に緩衝地帯を設けて遮蔽効果の向上を図っています。工場境界線の騒音・振動測定は毎年1回、外部の計量証明事業者による測定を行い、いずれも基準値以下で問題のないことを確認しています。

(8) 悪臭防止の取り組み

当工場の悪臭物質としてはトルエンがあります。設備の密閉化、排ガス中からの溶剤(トルエン等)の回収、再利用を促進しています。2003年に溶剤回収装置を導入しました。2014年8月に溶剤回収装置を大型に更新、更に回収、再利用率の向上を図っています。自主点検、定期点検を実施して適正に管理することにより、悪臭防止を図っています。規制物質(トルエン等)の測定は、工場境界で定期的に行っていますが、検出限界以下です。(規制値:トルエン 10ppm以下, 測定検出限界 1ppm)。

(9) 特定化学物質排出量管理への取り組み

P R T R法に該当する第一種指定化学物質であるトルエンの排出・移動量は、毎年国に報告し管理を行っています。2011年度からは ノルマルーヘキサンも第一種指定管理物質に該当することになり、排出・移動量を報告し管理しています。



*2014年度が減少傾向は、溶剤回収装置更新の効果

(10) 環境コミュニケーション

① 地域との関わり

私達は親会社の(株)ADEKA三重工場とともに地域との関わりを重視し、連携して行事に参加しています。例年、夏に工場で開催するサマーフェスティバルには、近くの住民の方に参加してもらい、工場の活動の一端を紹介しつつ楽しんで戴いています。その他、町主催の各種行事等へも参加し、地域との交流を図っています。

また、中学生の勤労体験学習も受け入れております。勤労体験を通して勤労観、職業観について理解を深める一方で、ルールを守ることの大切さ、働く喜びを伝えております。



(2014. 11. 5~7) * 製品のドラム充填後のドラムキャップ締め

② 工場周辺の一斉清掃

工場周辺の一斉清掃は、(株)ADEKA三重工場と協同で恒例の行事として継続しており、その回数も増やし、オキシラン独自の工場周辺清掃も取り組んでいます。



(2014. 6. 3)



(2014. 12. 3)

工場周辺美化運動

③ 外部コミュニケーション

当工場の環境方針、環境レポート等は積極的に公開し、活動の状況を地域の方々、関連する事業所に情報提供を行い、私達の活動に協力を戴いております。

6. 安全への対応

日常の危険予知活動を中心とした安全諸活動に継続的に取り組んでいます。また、リスクアセスメントの定着、安全パトロールの強化を図り、無事故・無災害を達成しました。今後も無事故・無災害を継続するように 全従業員一丸となって安全活動に取り組んでいきます。

(1) 2014年度安全目標と実績

項目	目標	実績	結果
労働災害	0件	0件	目標達成
保安事故	0件	0件	目標達成
ヒヤリ・気掛り報告	129件	131件	目標達成
安全・環境改善	129件	130件	目標達成

労働無災害時間 : 418,600時間 (2015年7月末現在)

(2) 防災訓練

2014年8月8日に(株)ADEKAと合同の防災訓練を実施しました。自衛消防隊が出動し、タンク火災を想定した消防訓練を行いました。この訓練により緊急時は速やかに、且つ、適正な処置を行う事を身に付け、大地震発生時のプラントの安全停止、人員の安全確保、避難や火災発生時の早期消火による被害の最小化を図ります。



防災訓練 (2014.8.8)

(お願い)

本レポートに関するご意見、ご質問は下記の窓口にご連絡戴きます様にお願い申し上げます。

作成	オキシラン化学(株)	三重工場	環境管理委員会	
確認	オキシラン化学(株)	三重工場	環境管理責任者	一木 好永
窓口	オキシラン化学(株)	三重工場	業務部 業務課	斎藤 仁
	TEL 0594-76-2335		FAX 0594-76-8335	

ご意見をお聞かせください

私たちは地球環境の保全と労働安全衛生に積極的に取り組んでおります。
今回、2015年版の環境・安全レポートを発行致しましたが、未だ不十分な面が多々あるかと思えます。皆様より頂いたご意見、感想を参考としてさらに活動を進めていきたいと考えています。皆様の忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。

オキシラン化学株式会社 三重工場
環境管理委員会 事務局
FAX 0594-76-8335

1. この環境・安全レポートの記載項目はいかがですか。
a. 物足りない b. 普通 c. 充実している d. その他 ()
2. この環境・安全レポートの記載内容はいかがですか。
a. 理解できない b. 普通 c. よく理解できた d. その他 ()
3. ご意見、ご感想をお願いします。

※ お名前、ご住所等は個人情報となりますので、記入は任意です。

ご勤務先 _____

お名前 _____

連絡先ご住所 _____

電話番号 _____

FAX番号 _____